

「その時、何を考え、どのように行動したのか」

災害対応技術の伝承

職員による危機管理研修を実施しました。



中越地震発災時の状況説明



極限状態において、いかに冷静かつ迅速に判断するか

湯沢砂防事務所では、9月1日の防災の日に合わせて、職員による危機管理研修を実施しました。

平成16年10月に発生した「中越地震」発生から間もなく11年が経過し、当時の震災を経験した職員も少なくなりつつある状況に対して、災害対応技術の伝承を目的とし、震災当時、当湯沢砂防事務所 副所長として災害対応の陣頭指揮を執られた本臼氏を講師に招き実施したものです。

研修では、事務所のほぼ全職員が参加、災害対応の様々なノウハウや教訓などを学びました。研修に引き続き、質疑応答では、闊達な議論がされました。

湯沢砂防事務所では、今回の研修を生かし、災害発生状況の把握や応急対応が速やかに実施できるように努めてまいります。